



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <http://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 釜井 節生
 (氏名) 酒井 次郎

TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,084	9.5	△325	—	△261	—	△219	—
24年3月期第1四半期	12,866	4.0	△548	—	△464	—	△158	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △694百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △122百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.73	—
24年3月期第1四半期	△4.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	52,139	33,535	64.3
24年3月期	52,295	34,281	65.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 33,510百万円 24年3月期 34,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,600	3.1	510	△42.8	530	△47.9	270	△62.3	8.29
通期	67,700	6.0	3,380	43.9	3,450	38.2	2,100	38.5	64.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	32,591,240 株	24年3月期	32,591,240 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,990 株	24年3月期	7,990 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	32,583,250 株	24年3月期1Q	32,583,430 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかに回復しつつあるものの、景気は依然として厳しい状況が継続しております。情報サービス産業におきましても、金融業や製造業のIT投資に持ち直しの兆しが見られ始めたものの、欧州の債務危機を巡る景気悪化リスクの高まりから、先行きは不透明に推移しております。

かかる状況の下、当社グループは、最優先課題として前期にスタートさせた3ヵ年の中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」の推進に取り組んでおります。この中期経営計画においては、「価値協創」をテーマに掲げ、お客様、電通グループ、その他のあらゆるパートナーとのコラボレーションを通じて時代を先取りした新しい価値を創出し、お客様や社会の課題解決に貢献することを目指しております。計画2年目となる当連結会計年度におきましても、競争優位性をさらに追求するため、継続してソフトウェア製品や新規サービスの研究開発を積極的に実施するほか、グローバルビジネスの拡大、クラウドソリューションの拡充・強化、顧客インサイトの深耕等により、売上高ならびに利益の拡大を図っております。また、当第1四半期連結会計期間において、非連結子会社であった株式会社アイエスアイディ・フェアネスを連結の範囲に含めることとしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比増収の14,084百万円(前年同期比109.5%)となりました。当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメントは主要顧客向けの大型プロジェクト終了を要因に減収となったものの、金融ソリューションセグメント、エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント、コミュニケーションITセグメントが増収を牽引しました。

増収効果により、売上総利益は前年同期比増益の4,157百万円(前年同期比108.9%)となりました。前期に発生した大型の不採算案件は、当第1四半期連結会計期間中にすべて収束し、売上総利益率はほぼ前年同期並みとなりました。販売費及び一般管理費は、研究開発活動の拡大等により前年同期比増加の4,482百万円(前年同期比102.7%)となりましたが、売上総利益の増益により吸収し、営業損失は△325百万円(前年同期は△548百万円)、経常損失は△261百万円(前年同期は△464百万円)とそれぞれ前年同期に比べ損失が減少しました。

一方、四半期純損失につきましては、特別損失に固定資産除却損79百万円を計上したことに加え、前年同期は特別利益に投資有価証券売却益105百万円を計上していたことから、△219百万円(前年同期は△158百万円)と、前年同期に比べ若干減益となりました。

事業セグメント別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高

事業セグメント	前第1四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
金融ソリューションセグメント	4,131	32.1	4,304	30.6	104.2
エンタープライズソリューション・ ビジネス系セグメント	2,628	20.4	2,845	20.2	108.3
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系セグメント	4,070	31.7	3,804	27.0	93.5
コミュニケーションITセグメント	2,035	15.8	3,129	22.2	153.8
合計	12,866	100.0	14,084	100.0	109.5

(注)「金融ソリューションセグメント」では、金融業界を対象とした各種金融サービスに関わるソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント」では、全業種・業界を対象とした各種基幹システムに関わるソリューションや主に経営管理分野を対象としたビジネス系ソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント」では、主に製造業界の製品開発・製造分野を対象としたエンジニアリング系ソリューションを提供します。「コミュニケーションITセグメント」では電通グループとの協業による企業向け各種ソリューションを提供します。

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューションセグメント 4,304百万円 (前年同期比104.2%)

単体における金融業向け売上高は、一部プロジェクトの開始が遅れたこと等により前年同期比減少したものの、上海現地法人における金融機関向け売上が拡大したことに加え、株式会社アイエスアイディ・フェアネスを連結子会社化したことによる売上の増加があったため、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント 2,845百万円 (前年同期比108.3%)

人事管理パッケージ「POSITIVE (ポジティブ)」の販売が好調に推移していることに加え、基幹システム分野のソフトウェア商品販売が製造業向けに拡大したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント 3,804百万円 (前年同期比93.5%)

製品開発プロセスの上流工程である構想設計、解析、実験等を対象に提供しているコンサルティングサービスが、自動車業界向けを中心に好調に推移しました。しかしながら、主要顧客向けの大型プロジェクトが前期に終了したことに伴って、CADやPLMなど設計支援ソフトウェアの販売が減少したこと等から、当セグメントの売上高は減収となりました。

コミュニケーションITセグメント 3,129百万円 (前年同期比153.8%)

電通から基幹システム関連の構築プロジェクトを複数件受注し、開発がスタートしたことに加え、電通グループとの協業によるビジネスも順調に拡大していることから、当セグメントの売上高は増収となりました。電通グループとの協業においては、セールスフォース・ドットコム社が提供するクラウド型プラットフォーム「Force.com」を活用した、アジャイル型のアプリケーション開発サービスが好調に推移しています。

サービス品目別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。

■サービス品目別売上高

サービス品目	前第1四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
コンサルティングサービス	263	2.0	361	2.6	137.3
受託システム開発	3,726	29.0	4,204	29.8	112.8
ソフトウェア製品	1,559	12.1	1,710	12.1	109.7
ソフトウェア商品	4,694	36.5	4,743	33.7	101.0
アウトソーシング・運用保守サービス	1,126	8.8	1,402	10.0	124.5
情報機器販売・その他	1,496	11.6	1,661	11.8	111.0
合計	12,866	100.0	14,084	100.0	109.5

(注)「コンサルティングサービス」は、業務およびITのコンサルティングサービスです。「受託システム開発」は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守です。「ソフトウェア製品」は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「ソフトウェア商品」は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「アウトソーシング・運用保守サービス」は、顧客システムの運用・保守・サポート、ならびに業務の受託サービスです。「情報機器販売・その他」は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。

■サービス品目別営業の状況

コンサルティングサービス 361百万円 (前年同期比137.3%)

製品開発プロセスの上流工程である構想設計、解析、実験等を対象に提供しているコンサルティングサービスが、自動車業界向けを中心に好調に推移していること等から、当サービスの売上高は増収となりました。

受託システム開発 4,204百万円 (前年同期比112.8%)

電通向けに基幹システム関連の構築プロジェクトが複数スタートしたこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア製品 1,710百万円 (前年同期比109.7%)

人事管理パッケージ「POSITIVE」の販売が好調に推移していることに加え、構想設計ソリューション「iQUAVIS (アイクアビス)」が自動車業界向けに拡大したこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア商品 4,743百万円 (前年同期比101.0%)

CADやPLMなど設計支援ソフトウェアの販売が減少したものの、セールスフォース・ドットコム社が提供するクラウド型プラットフォーム「Force.com」の販売が拡大したほか、基幹システム分野のソフトウェア商品が製造業向けに拡大したこと等から、当サービスの売上高はほぼ前期並みとなりました。

アウトソーシング・運用保守サービス 1,402百万円 (前年同期比124.5%)

株式会社アイエスアイディ・フェアネスを連結子会社化したことによる売上の増加に加え、電通グループ向けの運用保守サービスも拡大したこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

情報機器販売・その他 1,661百万円 (前年同期比111.0%)

金融業、製造業、ならびに電通グループ向けの情報機器販売が拡大したことにより、当サービスの売上高は増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、主としてたな卸資産及び前渡金の増加や売掛債権の減少により流動資産が206百万円増加した一方、主として時価変動等による投資有価証券の減少により固定資産が362百万円減少した結果、前連結会計年度末の52,295百万円から156百万円減少し、52,139百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の部は、主として前受金の増加や買掛債務の減少、賞与支払による未払費用の減少及び納税による未払法人税等の減少により流動負債が719百万円増加した一方、主として繰延税金負債の減少により固定負債が128百万円減少した結果、前連結会計年度末の18,013百万円から591百万円増加し、18,604百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、主として四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少や時価変動によるその他有価証券評価差額金の減少に伴い、前連結会計年度末の34,281百万円から746百万円減少し、33,535百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期(累計)および通期業績につきましては、平成24年5月11日に発表いたしました業績予想より変更はございません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741	3,198
受取手形及び売掛金	15,672	10,752
商品及び製品	72	80
仕掛品	867	2,167
原材料及び貯蔵品	23	15
前渡金	3,957	5,477
預け金	8,096	9,524
その他	2,312	2,733
貸倒引当金	△27	△27
流動資産合計	33,716	33,922
固定資産		
有形固定資産	6,024	6,061
無形固定資産		
のれん	133	123
その他	4,663	4,645
無形固定資産合計	4,796	4,768
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,760	7,388
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,758	7,386
固定資産合計	18,579	18,217
資産合計	52,295	52,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,402	4,859
未払法人税等	311	74
前受金	4,096	6,505
受注損失引当金	393	30
その他	4,797	4,249
流動負債合計	15,001	15,720
固定負債		
役員退職慰労引当金	62	28
資産除去債務	717	753
その他	2,232	2,102
固定負債合計	3,012	2,884
負債合計	18,013	18,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	9,979	9,686
自己株式	△28	△28
株主資本合計	33,417	33,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182	818
繰延ヘッジ損益	28	1
為替換算調整勘定	△346	△433
その他の包括利益累計額合計	864	386
少数株主持分	—	24
純資産合計	34,281	33,535
負債純資産合計	52,295	52,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	12,866	14,084
売上原価	9,050	9,927
売上総利益	3,816	4,157
販売費及び一般管理費	4,364	4,482
営業損失(△)	△548	△325
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	15	16
為替差益	28	51
雑収入	60	13
営業外収益合計	120	96
営業外費用		
支払利息	11	10
持分法による投資損失	23	20
雑損失	2	0
営業外費用合計	36	31
経常損失(△)	△464	△261
特別利益		
投資有価証券売却益	105	—
特別利益合計	105	—
特別損失		
固定資産除却損	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純損失(△)	△359	△340
法人税、住民税及び事業税	54	39
法人税等調整額	△254	△163
法人税等合計	△200	△124
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△158	△216
少数株主利益	—	3
四半期純損失(△)	△158	△219

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△158	△216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	△364
繰延ヘッジ損益	△12	△27
為替換算調整勘定	△33	△86
その他の包括利益合計	36	△478
四半期包括利益	△122	△694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122	△697
少数株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	
売上高					
外部顧客への売上高	4,131	2,628	4,070	2,035	12,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,131	2,628	4,070	2,035	12,866
セグメント利益又は損失(△)	92	△321	△178	△140	△548

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失(△)は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	
売上高					
外部顧客への売上高	4,304	2,845	3,804	3,129	14,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,304	2,845	3,804	3,129	14,084
セグメント利益又は損失(△)	130	△388	△352	285	△325

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失(△)は一致しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

主として連結財務諸表提出会社の顧客に導入される情報システム及びそのソフトウェアの稼働時期は、期首及び第3四半期会計期間期首からとなる場合が多いため、多くの顧客の決算期（年度末）である3月及び第2四半期会計期間末である9月にシステム開発の完了又はソフトウェアの出荷・納入が集中します。そのため、当社グループの売上は3月及び9月に集中する傾向があり、当社グループの生産、受注及び販売実績は季節的変動があります。

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	3,475	101.0
エンタープライズソリューション・ビジネス系	1,489	95.8
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	669	104.4
コミュニケーションIT	1,716	227.6
合計	7,349	115.0

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）における生産実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
受託システム開発	4,916	118.5
ソフトウェア製品アドオン開発	838	96.7
ソフトウェア商品アドオン開発	1,595	116.2
合計	7,349	115.0

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。
 2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。
 3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同四半期比（%）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	3,707	79.9	3,504	96.2
エンタープライズソリューション・ビジネス系	1,541	80.8	2,004	112.5
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	894	111.8	802	180.2
コミュニケーションIT	3,960	273.7	3,169	335.3
合計	10,104	114.9	9,481	139.1

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	7,237	113.4	6,496	133.4
ソフトウェア製品 アドオン開発	793	106.2	1,231	123.3
ソフトウェア商品 アドオン開発	2,073	124.5	1,752	184.4
合計	10,104	114.9	9,481	139.1

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	4,304	104.2
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	2,845	108.3
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	3,804	93.5
コミュニケーションIT	3,129	153.8
合計	14,084	109.5

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティングサービス	361	137.3
受託システム開発	4,204	112.8
ソフトウェア製品	1,710	109.7
ソフトウェア商品	4,743	101.0
アウトソーシング・運用保守サービス	1,402	124.5
情報機器販売・その他	1,661	111.0
合計	14,084	109.5

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	1,665	12.9	2,290	16.3